-



常隆寺　紅葉

わたしたちのマチの景況レポート No. 47

2026 年 7～9 月期実績・2026 年 10～12 月期見通し

今日も　楽しい　おつきあい

淡路信用金庫

調査概要

１．調査時期　　：2026 年 7～9 月期実績・2026 年 10～ 12 月期見通し

２．調査方法　　：当金庫の営業店職員による「聴取り」調査

３．調査企業数　：668 社

製　造　業	151 社	卸　売　業	96 社	小　売　業	114 社
サービス業	117 社	建　設　業	141 社	不 動 産 業	49 社

４．調査地区　　：当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）

５．分析方法：Ｄ．Ｉ．（「良い」「増加」「上昇」の回答割合 －「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況 「良い」－「悪い」	**良い**＞悪い	良い＜**悪い**
売上額	前期（四半期）と比較した売上 「増加」－「減少」	**増加**＞減少	増加＜**減少**
収益	前期（四半期）と比較した収益 「増加」－「減少」	**増加**＞減少	増加＜**減少**
販売価格	前期（四半期）と比較した販売価格 「上昇」－「下降」	**上昇**＞下降	上昇＜**下降**
仕入価格	前期（四半期）と比較した仕入価格 「上昇」－「下降」	**上昇**＞下降	上昇＜**下降**
人手過不足	調査回答時点での人手 「過剰」－「不足」	**過剰**＞不足	過剰＜**不足**
資金繰り	前期（四半期）と比較した資金繰り 「楽」－「苦」	**楽** ＞ 苦	楽 ＜ **苦**
設備投資企業割合	設備投資実施の有無		

例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足

⬇ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

人手不足＝　10　－　60　＝▲50

【問合せ先】
淡路信用金庫　業務部
担当：松下、濵田、樅木（もみのき）
TEL：0120-22-1020

業種別地区別天気図

業種＼地区	全事業地区（668先）			淡路地区（383先）			神明地区（285先）		
時期	2026年4～6月（前期）	2026年7～9月（今期）	2026年10～12月（見通し）	2026年4～6月（前期）	2026年7～9月（今期）	2026年10～12月（見通し）	2026年4～6月（前期）	2026年7～9月（今期）	2026年10～12月（見通し）
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調← →低調

全業種

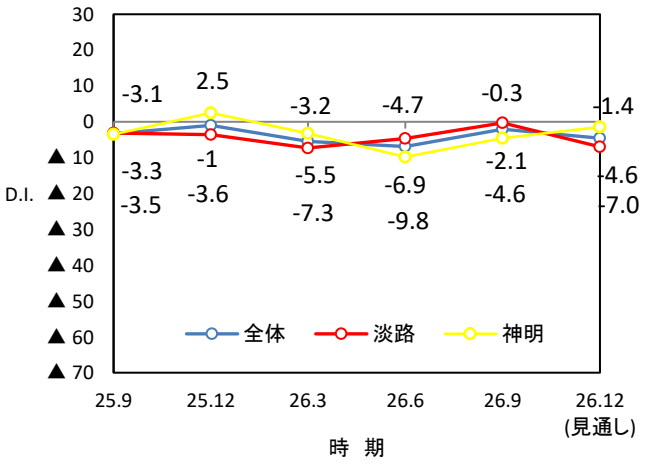
前期 今期 来期

今期（2026年7～9月期）の業況判断D.I.は▲2.1と、前期（2026年4～6月期）▲6.9に比べ4.8ﾎﾟｲﾝﾄ改善となる。項目別では、売上額は5.2(前期0.7)と4.5ﾎﾟｲﾝﾄの増加、収益は▲3.4(前期▲7.5)と4.1ﾎﾟｲﾝﾄ増加となった。販売価格では34.6(前期30.4)と4.2ﾎﾟｲﾝﾄ上昇、仕入価格は56.0（前期56.4）と横ばいである。

人手過不足については▲23.4(前期▲23.2)、来期は▲24.4と、大幅なマイナスの状態が続くことが見込まれる。資金繰りについては、▲6.6(前期▲5.2)と僅かであるが悪化している。

来期（2026年10～12月期）の業況判断D.I.については▲4.6と2.5ﾎﾟｲﾝﾄ悪化する見通しである。業種別では、不動産業が改善の見通しで、製造業・サービス業・建設業が悪化を見込んでいる。

業況判断D.I.の推移（地区別）



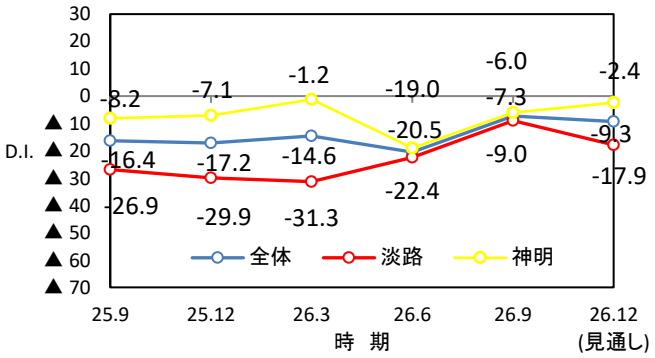
（D.I.）

	26年 6月（前期）	26年 9月（今期）	26年12月（見通し）
業況	−6.9	−2.1	−4.6
売上額(前期比)	0.7	5.2	−0.3
収益(前期比)	−7.5	−3.4	−6.0
販売価格(前期比)	30.4	34.6	22.5
仕入価格(前期比)	56.4	56.0	42.5
人手過不足(過剰－不足)	−23.2	−23.4	−24.4
資金繰り(楽－苦)	−5.2	−6.6	−6.3
設備投資実施企業割合(%)	13.2	14.2	13.1

製造業

今期の業況判断D.I.は▲7.3（前期▲20.5）と13.2ポイントの改善となった。地区別の業況は、淡路地区▲9.0（前期▲22.4）と 13.4 ポイントの改善、神明地区▲6.0（前期▲19.0）と 13.0 ポイントの改善となった。来期については、業況が▲9.3 と 2 ポイント悪化見込みと予想、売上額は増加、収益は僅かながら改善の見込みとなっている。

業況判断D.I.の推移（地区別）



お客様の声

鋼材の仕入価格が毎月上昇し、資金繰りに不安がある。従業員の採用を積極的に行っているが、経験が浅い従業員が多く人材育成が課題。生成AIは主に従業員が文章作成として利用している。　（淡路）

主力先よりの受注が好調であり、受注に対応すべく、新設設備（中古）、補助金を活用した複合機を導入。更に補助金が採択となり、新設設備を導入予定である。経営上の問題点は、合理化の不足で、当面の重点経営施策は機械化の推進である。　（神明）

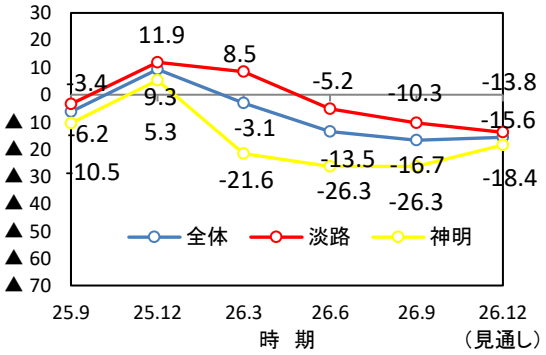
（D.I.）

	26年6月（前期）	26年9月（今期）	26年12月（見通し）
業況	−20.5	−7.3	−9.3
売上額（前期比）	−13.9	−0.7	2.6
収益（前期比）	−25.8	−9.9	−7.3
販売価格（前期比）	34.0	33.8	28.5
仕入価格（前期比）	74.8	62.9	46.4
人手過不足（過剰－不足）	−23.8	−23.2	−24.5
資金繰り（楽－苦）	−5.3	−7.9	−7.3
設備投資実施企業割合（%）	13.2	15.2	17.9

卸売業

今期の業況判断D.I.は▲16.7（前期▲13.5）と3.2ポイントの悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲10.3（前期▲5.2）と 5.1 ポイントの悪化、神明地区は▲26.3（前期▲26.3）と横ばいとなる。来期については、業況が▲15.6 ほぼ横ばいの見込みで、売上額、収益については改善の見込みである。

業況判断D.I.の推移（地区別）



お客様の声

肥料・農薬は仕入価格が上昇しているが販売価格への転嫁はできている。一方で猛暑等により淡路島産玉ねぎの品質・大きさ・収穫量に影響があり、不良品の廃棄が発生していることから、収益面での負担となっている。　（淡路）

中東情勢による影響により一時的に仕入れが遅延したが、現状は特に問題なし。AIの利用は、現状では特に必要性を感じていないものの、今後は積極的に利用することで事務面の効率化を図る方針である。　（神明）

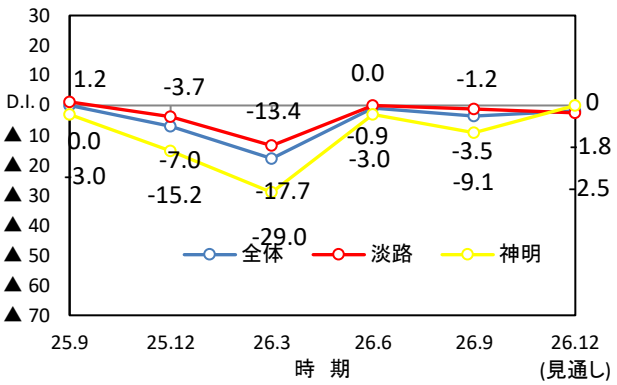
（D.I.）

	26年6月（前期）	26年9月（今期）	26年12月（見通し）
業況	−13.5	−16.7	−15.6
売上額（前期比）	−4.2	−5.2	−3.1
収益（前期比）	−6.3	−16.7	−5.2
販売価格（前期比）	22.9	43.2	22.9
仕入価格（前期比）	35.4	51.0	33.3
人手過不足（過剰－不足）	−14.6	−16.7	−15.8
資金繰り（楽－苦）	0.0	0.0	−4.2
設備投資実施企業割合（%）	9.4	11.5	10.4

小売業

今期の業況判断 D.I.は▲3.5(前期▲0.9)で 2.6 ﾎﾟｲﾝﾄの悪化となった。地区別では、淡路地区は▲1.2(前期0.0)と 1.2 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化、神明地区は▲9.1(前期▲3.0)と6.1 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化している。来期の業況は、ほぼ横ばいの予想であるが、売上額は減少見込みで、収益も悪化する見通しとなっている。

業況判断 D.I.の推移（地区別）



お客様の声

主商品、関連商品の不足、および仕入価格上昇が課題であり、専門的な人材の確保により外注費を抑制したい。生成ＡＩは経営者が主に文書作成やデータ分析に活用しているが、情報漏洩等のセキュリティ面が懸念される。（淡路）

中東情勢を要因として、医療向けサーバーシステムの納品が長期化するなど、通常業務が行えない時期があったが、現状問題はない。経営陣は課題解決のため継続的な人材確保、定着率向上に取組んでいる。（神明）

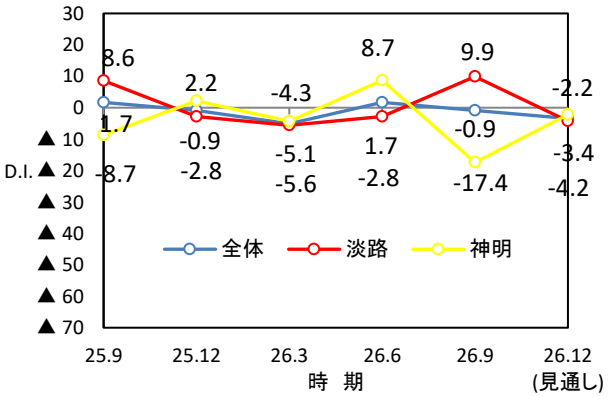
(D.I.)

	26年 6月（前期）	26年 9月（今期）	26年12月（見通し）
業況	−0.9	−3.5	−1.8
売上額(前期比)	7.0	8.8	0.9
収益(前期比)	−7.0	−4.4	−7.9
販売価格(前期比)	33.9	32.5	26.3
仕入価格(前期比)	53.0	47.4	43.0
人手過不足(過剰－不足)	−14.8	−17.5	−19.3
資金繰り(楽－苦)	−14.8	−11.4	−11.4
設備投資実施企業割合(%)	7.0	5.3	4.4

サービス業

今期の業況判断 D.I.は▲0.9(前期 1.7)となったが、地区別の業況では、淡路地区 9.9(前期▲2.8)と12.7 ﾎﾟｲﾝﾄの改善、神明地区は▲17.4(前期 8.7)で 26.1 ﾎﾟｲﾝﾄの悪化と地区で大きく違う結果となった。来期は、引き続き仕入価格の上昇が予想され、人手過不足も▲28.2 ﾎﾟｲﾝﾄと高い水準で不足が続く見通しである。

業況判断 D.I.の推移（地区別）



お客様の声

昨年は関西万博の影響で淡路島への客入りは減少していたが、今夏は予想以上に観光客が多く売上は確保できている。施設の老朽化が進んでおり、空調機器の入替工事を予定しているが、残暑が厳しく工事開始が遅れている状態である。（淡路）

受注選別に取り組んだことで近年の決算内容は良化している。高齢な従業員を多数抱えていることから遠方の取引を解消し、近隣の事業先を中心としたことで作業効率化が進んでいるが、若手従業員の確保が課題となっている。（神明）

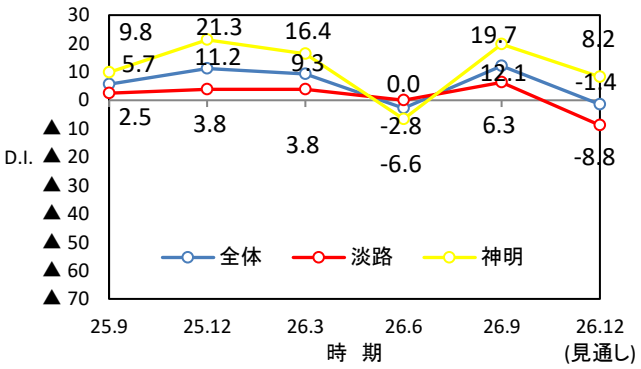
(D.I.)

	26年 6月（前期）	26年 9月（今期）	26年12月（見通し）
業況	1.7	−0.9	−3.4
売上額(前期比)	10.3	12.0	−6.0
収益(前期比)	1.7	5.1	−8.5
販売価格(前期比)	29.1	32.5	15.5
仕入価格(前期比)	46.2	57.3	41.0
人手過不足(過剰－不足)	−30.8	−28.2	−28.2
資金繰り(楽－苦)	−8.5	−11.1	−5.1
設備投資実施企業割合(%)	19.7	23.1	17.9

建設業

今期の業況判断 D.I.は 12.1(前期▲2.8)と 14.9 ﾎﾟｲﾝﾄ増加となった。地区別の業況は、淡路地区は 6.3（前期 0.0）と 6.3 ﾎﾟｲﾝﾄ増加、神明地区は 19.7（前期▲6.6）と 26.3 ﾎﾟｲﾝﾄの増加となった。来期の業況は▲1.4 と悪化の見通しである。人手過不足については、▲36.2 で慢性的な人手不足の状態が継続する見通しである。

業況判断 D.I.の推移（地区別）



お客様の声

前期からの繰越工事の消化により、業況の回復を見込んでいる。生成 AI については従業員が社内文書の作成など使用している程度であるが、安全性の面からも積極的な活用についてはもう少し先になる見通しである。（淡路）

業務効率化に向けて AI の活用を積極的に推進し、業務の効率化が進んでいる。従業員の業務時間も適切に管理できており、今後も AI の活用範囲を広げ、生産性向上を図る方針である。（神明）

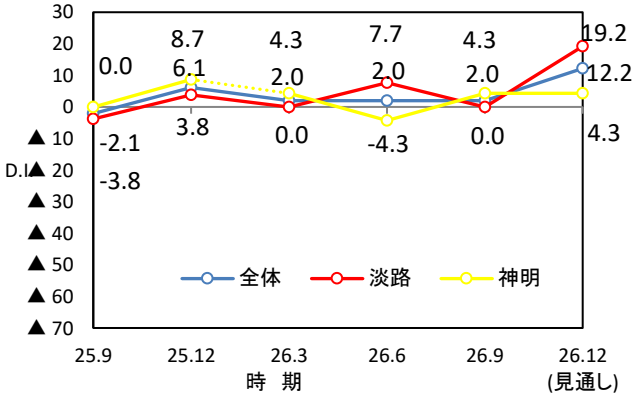
（D.I.）

	26年 6月（前期）	26年 9月（今期）	26年12月（見通し）
業況	-2.8	12.1	-1.4
売上額(前期比)	3.5	11.3	-1.4
収益(前期比)	-3.5	6.4	-6.4
販売価格(前期比)	34.0	34.8	18.4
仕入価格(前期比)	72.3	66.7	51.1
人手過不足(過剰－不足)	-34.8	-33.3	-36.2
資金繰り(楽－苦)	-0.7	-3.5	-5.0
設備投資実施企業割合(%)	15.6	14.9	12.8

不動産業

今期の業況判断 D.I.は 2.0(前期 2.0)と横ばいで推移。地区別の業況は、淡路地区は 0.0（前期 7.7）と 7.7 ﾎﾟｲﾝﾄ減少、神明地区は 4.3（前期▲4.3）と 8.6 ﾎﾟｲﾝﾄ改善となった。来期の業況予想は、12.2 と 10.2 ﾎﾟｲﾝﾄ上昇、売上額・収益は改善の見通しとなっている。

業況判断 D.I.の推移（地区別）



お客様の声

稼働率は 100%で推移しているが、収益物件の修繕費等が高騰していることが課題である。生成ＡＩの活用は現在ないが、今後経理事務作業等のため導入する方針である。（淡路）

主要エリアの阪神地区の住宅需要は高水準を維持しているが、中東問題以降は建設資材の納期遅れと価格高騰への対応が必要となっている。販売価格への転嫁と収益物件については条件面が適合すれば継続的な取得を模索しているが好物件が少ないのが現状である。（神明）

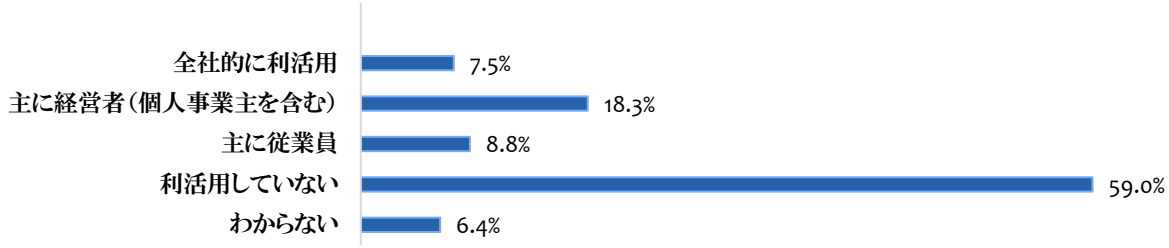
（D.I.）

	26年 6月（前期）	26年 9月（今期）	26年12月（見通し）
業況	2.0	2.0	12.2.
売上額(前期比)	10.2	2.0	10.2
収益(前期比)	12.2	-4.1	8.2
販売価格(前期比)	18.4	30.6	22.4
仕入価格(前期比)	26.5	30.6	26.5
人手過不足(過剰－不足)	-6.1	-10.2	-10.2
資金繰り(楽－苦)	2.0	-2.0	-2.0

特別調査　中小企業における生成 AI の利活用について

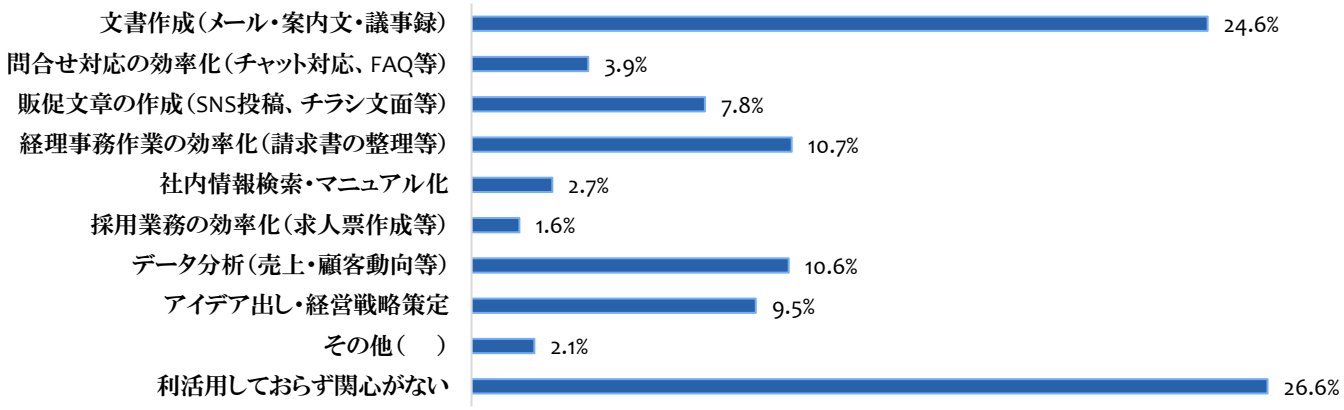
【問 1】. 業務上で生成 AI（ChatGPT、Gemini、Claude、DeepSeek 等）を利活用していますか。利活用している場合は主にどのような方が使っていますか。1 つ選んでお答えください。

現状、業務上で生成 AI を利活用していないとの回答は 59.0%と半数以上を占めており、利活用しているとの回答の合計は 34.6%に留まった。



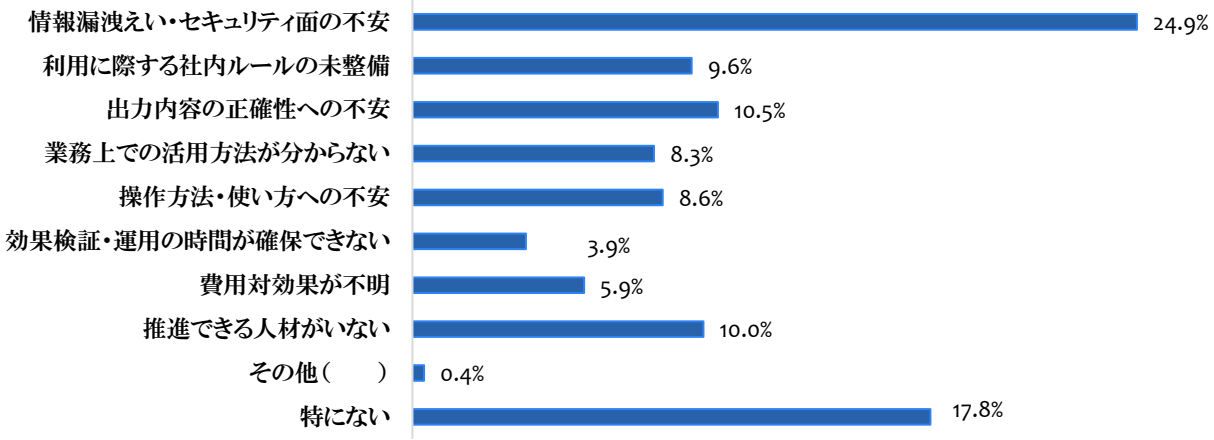
【問 2】. 業務上で生成 AI をどのような用途で利活用していますか。また、現時点で利活用していない場合は、どのような用途での利活用に関心がありますか。3 つ以内で選んでお答えください。

生成 AI を利活用している用途、利活用していないが関心がある用途としては、文章作成が 24.6%と高い割合であるが、利活用しておらず関心がないとの回答が 26.6%と一番高い割合であった。



【問 3】. 生成 AI を業務で利活用する上で、課題となる点は何ですか。もし現時点で利活用していない場合は、その理由は何ですか。3 つ以内で選んでお答えください。

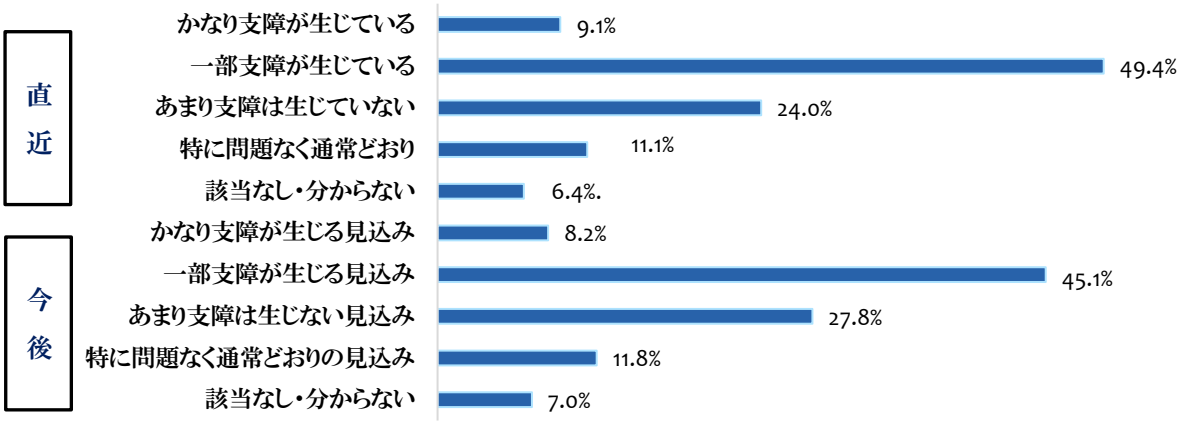
生成 AI を業務で利活用する課題としては、情報漏洩・セキュリティ面での不安が 24.9%と高い割合を占め、社内ルールの未整備・正確性への不安等も 20%を超えており、不安要素が大きい為利活用に対し消極的であると思われる。



特別設問 中東情勢による影響

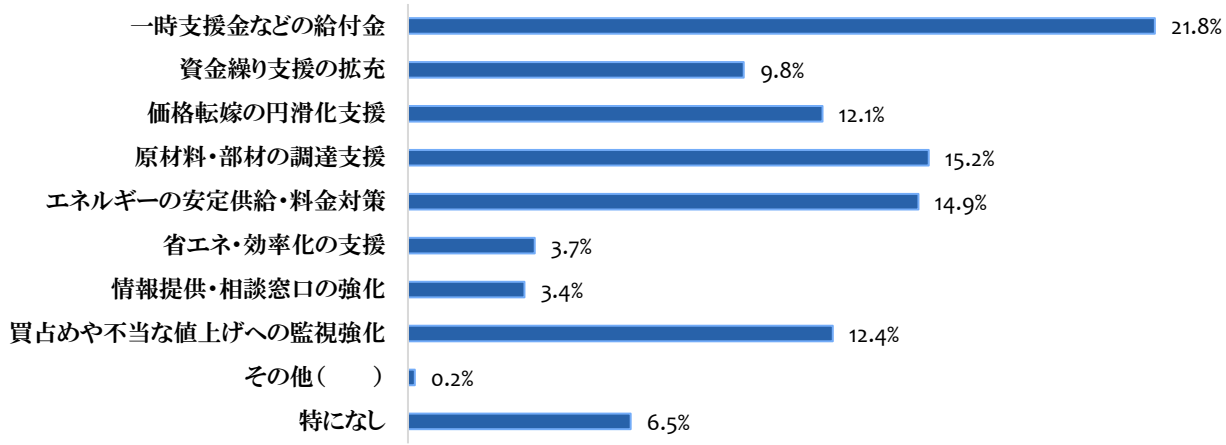
【問 4】. 2026 年春以降の中東情勢の混迷等により、原材料や商品等の調達（仕入れ）に際して、欠品や納期遅れ等、価格面以外での支障が生じていますか。直近の状況、今後の見通しについて最も当てはまるものをそれぞれ 1 つずつ選んでお答えください。

中東情勢の影響について、支障が生じているとの回答の合計は 58.5%と半数以上を占め、今後支障が生じる見込みであるとの回答の合計も 53.3%と高い割合である。



【問 5】. 中東情勢の混迷等により、原油価格等の高騰や、原材料・商品等の調達が困難な状況が生じています。これを受けて、今後行政に求める支援策は何ですか。3 つ以内で選んでお答えください。

今後行政に求める支援策としては、一時支援金などの給付金が高く、次いで原材料・部材の調達支援、エネルギーの安定供給・料金対策が多く比較的分散された回答となった。



わたしたちのマチの元気企業61

炭焼きあなご
あさじ

明治初期よりあなごの網元始め代々鮮魚仲介商を営んでまいりました。五代目に当たる店主が他にない焼穴子を作りたいと昭和 61 年に開業。質のいい活穴子しか使わないこだわり、昔ながらの製法を用い心を込めてつくっております。大切な人への贈り物に喜ばれています。



自宅でも手軽に本格的な穴子丼を味わって頂けるお弁当はご家族の集まりや、特別な日の食卓にピッタリな人気商品です。



団体旅行のお食事から、会議・会合のお弁当まで、幅広くご利用いただいております。



イートインスペースも併設しており、その場で召し上がって頂くことも出来ます。
テラス席はペット同伴が可能になっており、一緒にお食事を楽しんで頂くことが出来ます。

変わらない美味しさを、これからも…

長年培ってきた焼穴子の技と味を守りながら、時代とともに変わる食の楽しみ方にも寄り添っていく。
世代を超えて愛される焼穴子を、これからもお届けしてまいります。

炭焼きあなご　あさじ

656-1741
兵庫県淡路市浅野南 101-6
TEL：0799-82-0757　FAX:0799-82-0766
https://asaji1287.com

わたしたちのマチの元気企業62

株式会社佐野鉄工所

株式会社佐野鉄工所は、神戸市西区で機械加工を中心としたものづくりに取り組んでいます。立形・横形マシニングセンタ、5 軸加工機、NC 横中ぐり盤、三次元測定機などを活用し、鉄・ステンレス・特殊鋼をはじめとするさまざまな材料の加工に対応しています。試作品や単品、大型部品など、難易度の高い仕事にも積極的に挑戦し、お客様から「佐野鉄工所なら相談できる」と思っていただける企業を目指しています。

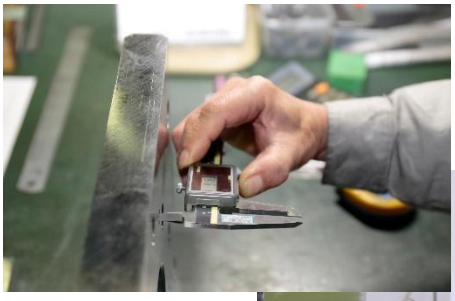


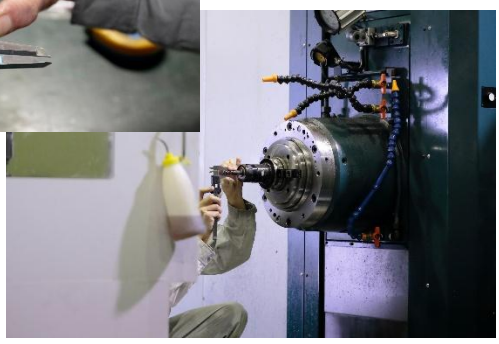
私たちが最も大切にしているのは「人」です。どれだけ設備や技術が進歩しても、それを使いこなし、より良いものづくりにつなげるのは人だからです。「人が育ち、技術が育ち、企業が育つ」という考えのもと、新卒採用や若手社員の教育、技能継承に力を入れています。また、外国人エンジニアも活躍しており、国籍や年齢に関係なく、互いに学び合い成長できる職場づくりを進めています。

製造業を取り巻く環境は、人手不足や原材料・エネルギー価格の上昇、AI・自動化の進展など、大きく変化しています。しかし、変化は新しい可能性を生み出す機会でもあります。設備への投資だけでなく、人材育成や生産性向上、品質向上にも継続して取り組み、価格だけで競争するのではなく、技術力と対応力で選ばれる会社でありたいと考えています。



これからも仕事を通して人を育て、ものづくりの技術を次世代へつなぎ、地域社会に必要とされる持続可能な企業を目指して挑戦を続けてまいります。





株式会社佐野鉄工所

創業：昭和 31 年 7 月

資本金：1,000 万円

従業員 20 名

[本社] 〒651-2144 神戸市西区小山 3 丁目 1-5

TEL:(078)923-0666 FAX:(078)923-0663

[平野工場] 〒651-2266 神戸市西区平野町印路字走崎 12-1

HP：http://www.sano-iron-works.co.jp/

事業内容：



■工作機械・専用機部品(ベッド、コラム等) ■作動機及び減速機部品(ギヤケース、ベアリングカバー等)

■各種試験機部品(ベースフレーム等) ■衛生用品製造機械部品(インデックステーブル等)